

地区労ニュース

発行元 宇治城陽久御山地区労働組合協議会
宇治市神明宮西37番地の33
メール: ujkchikurou@zeus.eonet.ne.jp
Tel・Fax 0774-29-3374

87号

第62回南山城統一メーデー

戦争立法阻止

労働法制改悪反対



「戦争する国づくり」も労働法の全面改悪もストップ、安倍政権の「暴走」政治を今すぐやめさせよう」と5月1日（金）、第62回南山城統一メーデーが、夏を思わせる日差しが照りつけた太陽ヶ丘運動公園（野外ステージ）で開かれ、45団体900人が参加しました。

主催者を代表して本庄豊実行委員長（地区労議長）は「安倍暴走政権は、アメリカと共に世界中に戦争できる新ガイドラインを予定し、今国会で悪名高い戦争法案や労働法制の改悪を狙っている。・・・平和憲法を守る世論で暴走政治ストップし原発ゼロを南山城から発信していきましょう。」と決意を込めた挨拶をしました。

来賓として、前窪府会議員から連帯の挨拶がありました。

続いて、メーデー初参加の宇治市環境嘱託職員労働組合、京自教大久保分会、福祉保育労洛南支部、宇治久世教職員労働組合、京建労洛南支部、城陽市職員労働組合の6団体より決意表明がありました。

最後に、「平和憲法を守る世論で暴走政権にストップを」などのメーデー宣言が採択されました。

集会の後、横断幕やプラカード、旗などを持ち、メーデー会場から市役所前を通りJR宇治駅までデモ行進をしました。

メーデー参加のみなさんご苦労様でした。



「戦争する国づくり」を許さない

宇治久世教職員労働組合が平和アピール宣伝

台風6号が近づく雨中、定例の平和アピール宣伝を行いました。戦後70年の節目の年、現政権は安全保障法制(戦争法制)を今国会で成立させようとしています。

そのような情勢の中、「戦争法制反対!」「平和と憲法を守ろう!」と道行く人に呼びかけチラシを配布しました。

周囲から「日本が海外で戦争する国になるのは心配だ」との声が寄せられる

中、多くの方が耳を傾けチラシを受け取ってくれました。また、いても立ってもいられず私たちの宣伝に飛び入り参加してくれる方もいました。

現政権が進める「戦争法制」に対する反対や不安の声が、昨年の集団的自衛権行使容認の閣議決定以降日々高まっています。私たちは引き続き平和と憲法を守る取り組みを進めます。

原稿 (宇治久世教組)

「戦争立法」策動のなか

5.3スタンディングアピール宇治

5月3日は、68回目の憲法記念日です。今年の憲法記念日は、安倍政権と自民党・公明党両党による「戦争立法」制定の動きをはじめ、憲法と国のあり方が根本から問われる緊迫した情勢の下で、「5・3スタンディングアピール宇治」が宇治橋近辺で行われました。



改憲派は憲法を押し付けられたものだといいますが、戦後70年、国民が改憲しなかつたことが、憲法の国民への定着を証明しています。

平和といのち、人権を守り抜くために、憲法を守り生かしていくことが重要です。



戦 い ら な い

【談話】

安倍内閣の「戦争立法」の閣議決定・国会上程に満身の怒りをこめて抗議し、法案阻止へ総力でたたかいて呼びかける

安倍内閣は5月14日、一連の「安全保障関連法案」を閣議決定し、本日、国会に上程しました。この法案は、アメリカが世界で起こす戦争に、日本が参加する道を突き進む「戦争立法」そのものです。

京都総評は、「戦争立法」の国会上程に、断固抗議するものです。

安倍首相は記者会見で、情勢の「緊張状態」を列挙し「この厳しい現実から目を背けることはできない」としましたが、ならばなおさら、緊張をいたずらに高める武力に頼る対処でなく、平和憲法の下での日本の役割が求められます。「武力を行使するのは日本国民を守るため」とも述べましたが、こう言って戦争の道へ突き進んだのが戦前の政府でした。断じて容認できない憲法違反の発言です。首相がいかに糊塗しようと、法案は、これまで憲法9条に抵触し、「できない」としてきた歯止めを、ことごとくとつぱらうものです。結果、自衛隊員が、地域に限定なく、アメリカ等が起こす戦争に参加し、人を殺し殺される戦闘行為に参加することになることは明らかです。まさに、法律案の上程そのものを認めるわけにはいかない違憲法案です。

京都総評は、国会において徹底審議でその狙いを明らかにすることを求めるとともに、法案の廃案をめざして総力でたたかうものです。

戦後70年、一人たりとも他国の人々を殺し殺されることがなかった平和憲法の重みを振り返り、歴史の岐路に立って、法案成立阻止への大共同を呼びかけるものです。

2015年5月15日

京都地方労働組合総評議会
事務局長 梶川 憲